

業務名称：TICAD9に向けた広報実施業務

（公告日：2024年11月22日 調達管理番号：24a00830）について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
国際協力調達部次長（契約担当）

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P14	（１）広報実施方針に関する業務 （ア）広報計画策定・進捗管理に関する業務	KPIに関して、TICAD8 の際に測定した露出数があるのでこれと比較可能なものにするとあるが、こちら事前に報告書などを見せてもらえるのか？	報告書は契約締結後の打合せにて共有します。TICAD8での露出数は、以下40番の回答を参照下さい。
2	P15	（２）国内広報に関する業務 （ア）国内向け JICA のアフリカ協力にかかる広報（特に SNS 発信）	フォロワー数を倍増させるとあるが、どのアカウントのことを指しているのか？	アフリカ部で開設しているアフリカひろばFacebook（ https://www.facebook.com/Africahiroba ）及びアフリカひろばX（ https://x.com/africahiroba ）を指しています。
3	P15	（３）海外広報に関する業務	以下の（ア）～（エ）の活動を通じて、JICA の対アフリカ協力の方向性や、JICA の開発協力の理念及び付加価値に対する理解を促し、記事化を狙う。とあるが、（ア）～（イ）までしか記載がない。（ウ）～（エ）があるのか、それとも誤植か？	ご指摘の通りですので、訂正いたします。 変更前：以下の（ア）～（エ）の活動を通じて 変更後：以下の（ア）～（イ）の活動を通じて
4	P17	（４）TICAD9 特設ウェブサイトに関する業務 （ア）TICAD9 特設ウェブサイトにおける記事発信	記事は英文でオリジナルを作成とあるが、オピニオンリーダーのインタビュー、各テーマに関する取材は、英語での実施想定か？	日本人の場合には、インタビューや取材は日本語で行うことを想定していますが、原稿については、オリジナルは原則英語で作成の上、日本語、仏語が揃うような形にしてください。
5	P17	（４）TICAD9 特設ウェブサイトに関する業務 （ア）TICAD9 特設ウェブサイトにおける記事発信	オピニオンリーダーのインタビュー、各テーマに関する取材に関して、オンライン、オフラインなど取材形式の想定は？	東京在住者が対象であれば対面あるいはオンラインでの取材、地方・海外在住者であればオンラインでの取材を想定していますが、個別に判断できればと考えます。
6	（なし）	入札手続き	1月30日の入札執行（入札会）は、既に提出している入札書などから結果を確認する場合（開札会）との位置づけであり、（初回）入札書の提出は1月14日正午までに提出を完了させておくべきとの認識で良いか	ご認識のとおり、1月30日は電子入札システム上での開札であり、入札書は1月14日正午までに、電子入札システムの所定の項目を入力ください。
7	（なし）	入札手続き	弊社の入札書の提出および入札会への参加は、電子入札システムから、弊社代表者名でのICカードを用いて、社長以外の社員が行うが、この場合、委任状の提出は必要か。必要な場合、提出期限（提出タイミング）はいつか	本案件は電子入札システムを利用しますので、委任状（入札会に関する一切の権限）のご提出は不要です。
8	（なし）	入札手続き	入札書のフォームが様式集 https://www.jica.go.jp/about/announce/manual/form/domestic/op_tend_evaluation.htm にあるが、この案件でもこの入札書フォームを利用するのか、または電子入札システムの画面に金額などを記入すれば入札書を添付して提出する必要はないか。 また今回公示にあった積算様式フォームについては、金額を記入の上、入札段階で電子入札システムから提出するものとの認識で良いか。その場合、ファイル形式の指定はあるか（エクセルかPDFか、など）	本案件の入札は、電子入札システムで実施しますので入札金額をシステムへ入力します。よって入札書フォームのご提出は不要です。なお、積算様式は入札額の積算にご利用ください。入札時点でのご提出は不要ですが、落札者には、入札金額内訳書として積算様式フォームをご提出いただきます。
9	（なし）	入札手続き	この案件の電子入札システムでの入札についての説明が詳しく掲載されているマニュアルとしては、電子入札システムポータルサイト https://www.jica.go.jp/about/announce/notice/ebidding.html の「コンサルタント等契約 操作マニュアル」および「物品の調達・役務の提供、機材調達等契約 操作マニュアル」がこれに該当するか	ご認識の通り、本案件に該当するマニュアルは「物品の調達・役務の提供、機材調達等契約 操作マニュアル」です。
10	P. 14	国内向けJICAのアフリカ協力にかかる広報	「TICADのキーワードである若者・女性に焦点をあてつつ（中略）TICAD開催までに月2回・計15回程度（中略）原稿を作成する」とあるが、若者と女性という性質の異なるセグメントひとくくりにするには無理があるが、月2回の原稿のうち月一回を若者向け、もう一回を女性向けにするというのはあり得るのか。	必ずしもひとくくりにということではありませんので、月2回の原稿を別々の焦点を絞る形でも構いません。
11	P. 14	国内向けJICAのアフリカ協力にかかる広報	「特にXについては、効果的な画像および映像を確保し、フォロワー数を倍増させることを目的とする」とあるが、効果的な画像および映像はJICAの手持ちの素材を使用する前提か、あるいはJICAの外部から調達する前提か。また、外部から調達する場合、調達にかかる費用は別途請求することができるのか。	原則、発注者が用意した素材ないし費用のかからないフリー素材を使用する前提です。

通番	該当頁	項目	質問	回答
12	P. 15	国内メディア・記者等への売り込み、番組制作等への提案企画対応	「国内メディア・記者等への記事化を目的とした売り込み」と「国内メディアによる特集記事・広報イベント・番組制作等の提案企画への対応」のそれぞれについてもう少し具体的な説明がほしい。特にこの二つの実務上の違いは何か。	前者は受注者から国内メディア・記者等への企画の「売り込み」、後者は国内メディア等から受注者及び発注者への企画の「持ち込み」です。それぞれの「売り込み」「持ち込み」企画の実施可否・実施方法を検討・発注者と協議し、必要に応じ直接経費を活用して再委託により実施します。
13	P. 15	国内メディア・記者等への売り込み、番組制作等への提案企画対応	直接経費（再委託費）として指定された合計の予算内でメディアと企画内容を提案すればよいのか	「直接経費（再委託費）として指定された合計の予算内」が、P. 25の②直接経費のb)にて指定の定額計上金額のことを指しているのであれば、概ねご理解のとおりです。上記12番の回答もご参照下さい。
14	P. 15	国内メディア・記者等への売り込み、番組制作等への提案企画対応	上記と絡むが、1回ごとの企画は直接経費で指定された1回あたりの予算内に収めないといけないのか	P. 25の②直接経費のb)にて指定の定額計上金額の1件当たりの金額は、過去の実績に基づく単価概算です。詳しくは契約締結後にご相談させて下さい。
15	P. 15	国内メディア・記者等への売り込み、番組制作等への提案企画対応	過去の実績メディアや企画内容をお教えいただきたい	契約締結後に共有いたします。
16	P. 15	国内メディア・記者等への売り込み、番組制作等への提案企画対応	この企画でのメディアのターゲットは誰なのか（それにより検討メディアが変わるため）	多くの方にアフリカとアフリカにおけるJICAの協力を知っていただく貴重な機会となるため、第一義的には一般の日本人をターゲットとし、具体的には16歳～35歳位の年齢層（若者）に焦点を当てていきたいと考えます。
17	P. 15	国内メディア・記者等への売り込み、番組制作等への提案企画対応	直接JICA様にセールスがあったものに対応する案件もあるということか	ご指摘の通りです。
18	P. 15	海外メディア向けブリーフィング等実施に係る支援	JICA幹部職員（3名程度）の英語によるブリーフィング準備の研修は、3名程度を合同で1日実施するということか、それとも、3名程度は別々の日（計3日程度）の研修を行うということか。	研修については全体で1日としますが、その中に参加者が合同で参加するプログラムもあれば、個別に行うプレゼンテーションの予定も含まれる想定です。
19	P. 24	海外メディア向けブリーフィング等実施に係る支援	JICA幹部職員（3名程度）の英語によるブリーフィング準備の研修で、「日英通訳含む」と記載されている。この通訳は何をすることを想定しているか。	こちらについては、通訳ではなく、英語にて講義を行う講師を手配する意味とお考え下さい。日英通訳は誤りのため削除します。
20	P. 16	海外メディア向けブリーフィング等実施に係る支援	個別取材の3件は、幹部職員等が英語で対応するのか、つまり、日英の通訳の用意は不要か。	ご指摘の通り不要です。
21	P. 16	海外メディアによる特集記事・広報イベント・番組制作等の提案企画への対応	どのエリアにリーチする企画を検討しているのか（例えば、アフリカ、欧州などのエリアの考え方について）	P. 16のB)及びC)の（注）に（対象候補のメディア）として記載の海外メディアをご参照下さい。
22	P. 17	TICAD9特設ウェブサイトに関する業務	「A)同サイト上に（中略）（必要に応じて、当該テーマについて発信力・影響のあるオピニオンリーダーのインタビュー等も含める」とあるが、このオピニオンリーダーはJICAが選ぶのか、受注者が提案するのか。また、インタビューの謝礼は別途請求することができるのか。	「必要に応じて」となりますので、インタビューの設定があった場合には別途ご相談させていただきますと幸いです。謝礼が必要な場合は、本契約の枠外にて、JICAの規程に則りJICAより対象者に直接支払います。ちなみにTICAD8では、JICA関係者以外のインタビューの設定はありませんでした。
23	P. 17	TICAD9特設ウェブサイトに関する業務	「C)加えて、記事掲載を広く周知（中略）を毎回作成する」とあるが、何を作成するのか。	特設サイトに掲載した記事を広く周知するため、上記2番の回答でご説明したアフリカひろばSNSにおいて、日英の投稿文の作成を想定しています。
24	P. 17	TICAD9特設ウェブサイトに関する業務	「C)加えて、記事掲載を広く周知（中略）を毎回作成する」とあるが、もしこれがSNS用の文言である場合、FacebookとXそれぞれで日本語と英語の2種類が必要となる。つまり、1記事に対し「日本語のFacebook文言」「英語のFacebook文言」「日本語のX文言」「英語のX文言」の4種類が必要と言う理解で良いか。	XについてはFacebookの凝縮版となりますので、Facebook用の投稿（英語、日本語）の2種類のみで結構です。
25	P. 17	TICAD10特設ウェブサイトに関する業務	「③ハイレベル・イベントのオウンド用の記事作成およびSNS発信」とあるが、「オウンド」とはTICAD9特設サイトという理解でよいのか。	ご指摘の通り「オウンド」とはTICAD9特設サイトです。

通番	該当頁	項目	質問	回答
26	P. 17	TICAD10特設ウェブサイトに関する業務	「④ハイレベル・イベントについて（中略）SNSで投稿宣伝を行う等）。27回」とあるが、この27回の根拠は何か。ハイレベル・イベントの回数と関連があるのか、	発注者が想定しているサイドイベントの数が30～40件程度であり、メリハリをつけた形で27回程度と想定しています。公告内容には「ハイレベルイベント」とありますが、右に限らず、サイドイベントの告知をSNSにて投稿宣伝を行います。「ハイレベルイベントを含めたサイドイベント」と訂正いたします。
27	P17	TICAD 9 期間中のサイドイベントに係る広報活動	サイドイベントの実施言語は何語か。同時通訳等で日本語、英語、仏語いずれも対応可能ということか。	JICA主催サイドイベントは日英仏3か国語同時通訳付きで開催予定です。JICA以外の主催（JICA共催）イベントの使用言語・通訳の有無は主催者の判断・手配によります。
28	P17	TICAD 9 期間中のサイドイベントに係る広報活動	サイドイベントへの「メディア誘致」および、登壇者への「メディア」によるインタビューは、海外メディアでも国内メディアでもどちらでもいいのか。	海外メディアと国内メディアの双方が対象です。
29	P17	TICAD 9 期間中のサイドイベントに係る広報活動	ハイレベルイベントのオウンド用の記事作成とSNS発信の言語は何か。	日本語、英語、仏語になります。
30	P. 17	TICAD9開催中のサイドイベント（ハイブリッド開催にかかる広報活動）	「①登壇者へのメディアによるインタビューの設定」とあるが、登壇者はJICA幹部を指すのか。JICA幹部でない場合、登壇者への取材の可否はJICAで確認してもらえるのか。	ここでの「登壇者」はJICA幹部に加え、アフリカ各国、国際機関、民間企業、市民社会などのトップ・幹部、国内外の有識者・研究者・オピニオンリーダーなどを想定しています。いずれにせよ、登壇者への取材の可否はJICAにて事前に確認します。
31	P. 18	TICAD10特設ウェブサイトに関する業務	「⑤サイドイベントへの対面及びオンライン参加者を確保するための誘致策（5回程度）」とあるが、これはFacebookやXでの投稿を指すのか。「誘致策」の具体的なイメージを知りたい。	必要に応じてサイドイベントへ参加者が一層多く集まる誘致策を予定しており、SNSでの投稿だけを指すものではなく、プレスリリースの原稿作成等も想定しています。詳細は、契約締結後に適宜ご相談させて下さい。
32	P. 18	広報動画の作成	「JICAのTICAD)に向けた（中略）の各1本を作成すること。」とあるが、短編（30秒程度）は長編（3分程度）の短縮版と考えてよいのか。	ご指摘の通り、短編（30秒程度）は長編（3分程度）の短縮版と考えていただいて構いません。
33	P. 18	広報動画の作成	「受注者が撮影のために海外・国内出張することは想定しておらず」とあるが、都内や東京都近隣県での撮影は想定しているという理解でいいか。	屋内でのインタビュー風景の撮影などは考えられますが、屋外での新たな撮影は想定しておりません。既に発注者側にある素材等をベースにして広報動画を作成ください。
34	P. 21、23	提案書作成要領（1） 1）類似業務の経験評価表	類似業務の経験（個別）として記載するのは5件以内とのことかと思うが、類似業務の経験（一覧リスト）に記載する件数に制限・目安はあるか。	「直接経費（再委託費）として指定された合計の予算内」が、P. 25の②直接経費のb)にて指定の定額計上金額のことを指しているのであれば、概ねご理解のとおりです。上記12番の回答もご参照下さい。
35	P. 21	提案書作成要領（3）業務従事者の経験・能力等 2）業務従事者の経験・能力等	参考様式「様式2（その1）」のフォームは、個人情報も含めかなり細かい項目が設定されているが、このフォームを利用せず「発注業務と関連性の強い学歴（専門性）、資格、業務経験など」を記載するだけでは足りないか。これ以外に記載・提出必須の項目・内容はあるか。	お手数ですが「様式2（その1）」をご使用いただくか、同様式を使用しない場合は、同様に記載の項目を全てカバー（非該当の項目はその旨明記）するよう、記載・提出をお願いいたします。不記載項目が多い場合は、他社との比較において評価が不利になることがあります。
36	P. 12	2. 業務の目的 広報メッセージ	ターゲットの「若者」は特に何歳位を想定されていらっしゃいますでしょうか。	「若者」は概して16歳～35歳位を想定しています。
37	P. 12	2. 業務の目的 広報メッセージ	①人間重視 ②アフリカオーナーシップと共創の部分について、具体的にどのようなことを伝えていきたいかご教示いただけますでしょうか。参考情報などがあればご共有いただけますと幸いです。	以下のリンクを参考にして下さい。 Message from JICA (https://www.jica.go.jp/TICAD/overview/message/) TICAD8岸田総理開会スピーチ (https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100386391.pdf) JICAのアフリカ協力 (https://www.jica.go.jp/africahiroba/ticad/_icsFiles/afieldfile/2023/08/29/cooperation_africa_jp_1.pdf) TICAD閣僚会合合同コミュニケ (https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100715924.pdf)
38	P. 13	2. 業務の目的 広報メッセージ	今後策定予定とされているキャッチフレーズは決定次第、発信方法を検討すると考えていて問題ないでしょうか。	キャッチフレーズの発信方法について、現時点では特定の方法は想定しておらず、ウェブサイト、メディア・ブリーフィング、SNS、イベント、取材対応、各種広報企画などの幅広い広報機会において幅広く活用することを想定していますが、いずれにせよ、統一的なキャッチフレーズの発信は必要であり、その発信方法の検討は必要と考えています。

通番	該当頁	項目	質問	回答																																
39	P. 13	2, 業務の目的 (3) 成果	影響力のあるメディア・SNSにおいて具体的に想定しているメディア・SNSはありますでしょうか。また、定量的な具体目標はありますでしょうか。	グローバルメディアについては、P16に記載のある会社をご参照ください。日本国内のメディアについては日経新聞や朝日新聞をはじめとした主要新聞、民放キー局等を想定しています。また、SNSは特段想定しているものではありません。定量的な具体目標については、TICAD8での実績（以下40番の回答参照）を参考に、受注後に協議していきたいと考えております。																																
40	P. 14	4, 業務の内容 (1)	TICAD8の際に測定した露出数を教えていただけますでしょうか。	以下の通りです。 【表 1】 海外報道実績 ¹ <table><tr><th>媒体</th><th>“TICAD”関連報道</th><th>“JICA” と “Africa” 双方に言及</th><th>集計期間</th></tr><tr><td>グローバル</td><td>46 件 ※TICADVI: 26 件</td><td>12 件 ※TICADVI: 5 件</td><td>2022/4/1～8/31</td></tr><tr><td>アフリカ</td><td>403 件 ※TICADVI: 141 件</td><td>75 件 ※TICADVI: 38 件</td><td>同上</td></tr><tr><td>計</td><td>449 件 ※TICADVI: 167 件</td><td>87 件 ※TICADVI: 43 件</td><td>同上</td></tr></table> ¹ 今次 TICAD 本会合は国外開催のため、ケニア開催の TICADVI と実績比較。 【表 2】 国内報道実績 <table><tr><th>媒体</th><th>TICAD 関連報道全体</th><th>うち「JICA」関係</th><th>集計期間</th></tr><tr><td>国内報道 （全国紙・地方紙・TV 等。 Web、広告記事を除く）</td><td>1,052 件 ※TICAD7:1,903 件 ※TICADVI:1,269 件</td><td>196 件 ※TICAD7:179 件 ※TICADVI:94 件</td><td>2021/9/7～2022/9/6</td></tr></table> 【表 3】 SNS実績 <table><tr><th>媒体</th><th>閲覧数</th><th>フォロワー増数</th><th>集計期間</th></tr><tr><td>広報部 SNS²閲覧数 ／フォロワー増数</td><td>約 80 万件 ※前回参考値なし</td><td>約 4,000 人 ※前回参考値なし</td><td>TICAD8 期間 前後約 1 ヶ月</td></tr></table>	媒体	“TICAD”関連報道	“JICA” と “Africa” 双方に言及	集計期間	グローバル	46 件 ※TICADVI: 26 件	12 件 ※TICADVI: 5 件	2022/4/1～8/31	アフリカ	403 件 ※TICADVI: 141 件	75 件 ※TICADVI: 38 件	同上	計	449 件 ※TICADVI: 167 件	87 件 ※TICADVI: 43 件	同上	媒体	TICAD 関連報道全体	うち「JICA」関係	集計期間	国内報道 （全国紙・地方紙・TV 等。 Web、広告記事を除く）	1,052 件 ※TICAD7:1,903 件 ※TICADVI:1,269 件	196 件 ※TICAD7:179 件 ※TICADVI:94 件	2021/9/7～2022/9/6	媒体	閲覧数	フォロワー増数	集計期間	広報部 SNS ² 閲覧数 ／フォロワー増数	約 80 万件 ※前回参考値なし	約 4,000 人 ※前回参考値なし	TICAD8 期間 前後約 1 ヶ月
媒体	“TICAD”関連報道	“JICA” と “Africa” 双方に言及	集計期間																																	
グローバル	46 件 ※TICADVI: 26 件	12 件 ※TICADVI: 5 件	2022/4/1～8/31																																	
アフリカ	403 件 ※TICADVI: 141 件	75 件 ※TICADVI: 38 件	同上																																	
計	449 件 ※TICADVI: 167 件	87 件 ※TICADVI: 43 件	同上																																	
媒体	TICAD 関連報道全体	うち「JICA」関係	集計期間																																	
国内報道 （全国紙・地方紙・TV 等。 Web、広告記事を除く）	1,052 件 ※TICAD7:1,903 件 ※TICADVI:1,269 件	196 件 ※TICAD7:179 件 ※TICADVI:94 件	2021/9/7～2022/9/6																																	
媒体	閲覧数	フォロワー増数	集計期間																																	
広報部 SNS ² 閲覧数 ／フォロワー増数	約 80 万件 ※前回参考値なし	約 4,000 人 ※前回参考値なし	TICAD8 期間 前後約 1 ヶ月																																	
41	P. 14	第 4 経費に係る留意点 ① 経費の積算に係る留意点 ② 直接経費	今後 JICA ドメイン内に設置予定のTICAD9 に向けた広報ウェブサイト（以下、「TICAD 特設サイト」）を通じて、内外からJICA の対アフリカ支援に関する情報へのアクセスが増える。とありますが、TICAD8の特設サイトのアクセス数やPV数等のアクセス実績を教えてください。	TICAD8の特設サイト（メインページ、日本語）のアクセス数は、2022年6月～10月の間、6111件です。その他のページについては、記事によりPV数は異なりますが、平均は数百程度でした。																																
42	P. 14-15	4, 業務の内容 (2)	既存の広報ツール（Facebook/X）について、どのアカウントが対象になるのか教えてください。	アフリカひろばFacebook（https://www.facebook.com/Africahiroba）及びアフリカひろばX（https://x.com/africahiroba）となります。																																
43	P. 15	4, 業務の内容 (2)	国内メディアによる特集記事・広報イベント・番組制作等の提案企画への対応3件とありますが、何を提案活動を3件するという理解で齟齬はないでしょうか。	大変恐縮ですが、当該箇所については、上記12番・13番でも別途ご質問いただいておりますので、12番・13番の回答もご参照下さい。																																
44	P. 15	4, 業務の内容 (2)	記者会見では何を発表する想定でしょうか。また、誰が登壇する予定でしょうか。	JICAサイドイベントの開催予定、アフリカ各国・国際機関等要人との面談予定、アフリカ開発の主要課題への取り組み方針などを想定しています。役員（理事長、副理事長、理事のいずれか）の登壇を想定しています。																																
45	P. 15	4, 業務の内容 (2)	記者会見の計画（開催交渉も含む）とありますが、開催交渉とは会場や登壇者への交渉を指しておりますでしょうか。	「開催交渉」とは、会場の手配や日本記者クラブ等のメディアクラブとの開催交渉を想定しています。																																
46	P. 15	4, 業務の内容 (2)	海外メディア向けのブリーフィングとは具体的に何をするイメージでしょうか。TICAD9についてやその周辺で行われる広報活動についてを説明するという理解でよいでしょうか。	海外メディアに対するブリーフィングについては、まずはJICAの目的及び具体的な活動を知っていただき、TICAD9に向けての取組みや過去8回行われたTICADの歴史及び成果等の説明を行い、海外メディアの関心を喚起した上で、最終的には個別取材につなげて記事化や何らかの広報企画につなげることを目的としています。																																
47	P. 15	4, 業務の内容 (2)	広報活動①国内 ②国外 日本外国特派員協会 ③国外 グローバルメディア ④国外 アフリカメディア)における優先度を把握したく、①～④の中で特に露出を獲得したい比重(割合)をご教示いただけますでしょうか。	露出獲得の優先順位は①>②>③>④の順です（比重の提示は困難）。但し、本件契約業務の枠外でも、①については広報部及び国内拠点、④についてはアフリカ域内の海外拠点が、TICAD9広報活動を行います。②と③については本件契約業務以外の広報活動は予定していません。したがって②と③の比重が相対的には高くなります。 アフリカ域内の海外拠点（以下に加え、エジプト、チュニジア、モロッコも含む）： https://www.jica.go.jp/about/basic/structure/overseas/africa.html 国内拠点：https://www.jica.go.jp/about/basic/structure/domestic/index.html																																
48	P. 15	4, 業務の内容 (2)	TICAD9に向けて実施予定の具体的な広報活動やサイドイベントの内容をご教示いただけますでしょうか。また、業務実施スケジュール策定にあたって、実施時期も開示できる範囲でご共有いただけますでしょうか。	本件契約による広報活動に加え、広報部主管による国内メディア向けブリーフィング（2025年春ごろ（1回））、国内拠点主管による地域向け広報イベントを実施予定です（年明け～2025年夏まで（100件以上））。サイドイベントについては以下49番の回答を参照下さい。																																

通番	該当頁	項目	質問	回答
49	P. 17	4. 業務の内容 (4)	サイドイベントの内容・スケジュールなどの詳細について、今わかっていることを教えてください。	サイドイベント開催計画は以下の通りです（2024年12月時点：変更があり得ます）。8/19～8/22の4日間、パシフィコ横浜内及び周辺にて、30～40件の開催（ハイブリッド形式）を予定しています。テーマ・内容は未定ですが、TICAD7、8時の内容を参照下さい。 TICAD7時：https://www.jica.go.jp/africahiroba/ticad/ticad7/index.html TICAD8時：https://www.jica.go.jp/TICAD/ticad8event/index.html
50	P. 25	第4 経費に係る留意点 1. 経費の積算に係る留意点 ② 直接経費	a) 会場費（資機材、コーヒープレーク代等を含む）（※ブリーフィングを想定。2,000千円（税抜）（500 千円/回×4 回（日本でのメディア・ブリーフィング、記者会見）で定額計上ください。） とありますが、この会場費とは何のための会場費で、すでに決まっているのでしょうか。また毎回決まっていない場合は同じ場所での実施が必須となるのでしょうか。	会場については現時点で未定です。会場費については、記者会見用の会場、それに付随する会場となります。必ずしも同じ場所での実施ではございません。
51	P. 25	第4 経費に係る留意点 1. 経費の積算に係る留意点 ② 直接経費	b) 国内・海外メディアによる特集記事・広報イベント・番組制作等の提案企画への対応にかかる再委託費（20,200 千円（税抜）（5,000 千円/件×3 件+2,600 千円/件×2件）で定額計上下さい）とありますが、企画内容を教えてください。	企画内容は、受注者による国内・海外メディアへの売り込みや、国内・海外メディアから受注者・発注者への持ち込み企画を踏まえて検討し、発注者との協議を経て決定します。
説明書の訂正				
通番	該当頁	項目	訂正前	訂正後
1	P15	（3）海外広報に関する業務	今次TICADは横浜開催ではあるが、引き続き海外に影響力のあるメディアに対して、以下の（ア）～（エ）の活動を通じて、JICAの対アフリカ協力の方向性や、JICAの開発協力の理念及び付加価値に対する理解を促し、記事化を狙う。	今次TICADは横浜開催ではあるが、引き続き海外に影響力のあるメディアに対して、 <u>以下の（ア）～（イ）</u> の活動を通じて、JICAの対アフリカ協力の方向性や、JICAの開発協力の理念及び付加価値に対する理解を促し、記事化を狙う。
2	P. 17	（イ）TICAD9期間中のサイドイベント（ハイブリッド開催）に係る広報活動	④ハイレベル・イベントについて、当該テーマの重要性や議論の成果を積極的に発信するための広報策（例：特設サイトを通じて関連記事を発信し、SNSで投稿宣伝を行う等）。27回	④ハイレベル・イベント <u>を含めたサイドイベント</u> について、当該テーマの重要性や議論の成果を積極的に発信するための広報策（例：特設サイトを通じて関連記事を発信し、SNSで投稿宣伝を行う等）。27回
3	P. 24	（3）海外広報に関する業務	（ク）幹部役職員の海外メディア向けブリーフィング（英語）準備のための短期研修（日英通訳含）	（ク）幹部役職員の海外メディア向けブリーフィング（英語）準備のための短期研修 <u>—（日英通訳含）—</u>
4	P27及び積算様式	3）海外広報に関する業務	e 幹部役職員の海外メディア向けブリーフィング（英語）準備のための短期研修（日英通訳含）	e 幹部役職員の海外メディア向けブリーフィング（英語）準備のための短期研修 <u>—（日英通訳含）—</u>